

EVENT 131 MARKETING

発行所：株式会社 MICE 研究所
〒105-0004 東京都港区新橋 5-12-9 ABCビル 4F-A
TEL03-6721-5303 sofuf@event-marketing.co.jp

特集 イベントの安全をデザインする



展示会開催宣言！
Interop Tokyo 2026
(株)ナノオプト・メディア
代表取締役社長
大嶋 康彰さん

TAKE FREE

www.event-marketing.co.jp

This is サムライ・ヘルメット



入社式でヘルメットを手渡された。英語を学び国際物流会社に就職したはずが、現場作業員に？と戸惑った自分も、ヘルメット姿で外国籍の貨物船に乗り込みオフィサーと渡り合う日常にすぐ慣れた。一か月ほどたったある日、もう一つのヘルメットに出会った。船会社のVIPを観光にご案内した際に、歴史資料館の甲冑の展示へ。「侍っぽさがクール」と好評だった。

た。事前に辞書で兜の英訳を調べたら、ヘルメットと書いてあった。

戦国武将の兜は命を守ると同時に、自己表現の舞台だった。伊達政宗は三日月で妙見信仰を示し、織田信長は別名「勝ち虫」のトンポで不退転を誓い、直江兼統は軍神への崇敬を「愛」の一字に込めた。命がかかる場所ほど、かぶるものに意味が宿る。

かつて自転車用の白ヘルメットは詰襟の学生服と合わせてダサさの象徴だったが、今はスポーツタイプやカジュアルなデザインへと進化した。JA 共済連の調査ではヘルメット着用品が「カッコいいと思う」が42.6%、OGK カブトが高校生に行った調査では着用した85%以上が「安全意識が高まった」と答えている。

世界最古のヘルメットは紀元前 2600 年頃の

シュメール人のもの。その当時から防護用だけでなく、儀礼用のものもあったという。いまも残る五月人形の鎧兜は子どもを守る願いだ。展示会の華やかな会場の裏側には、設営・撤去作業の危険もある。ヘルメットはそこで働く人の身体の安全を守る防具であり、イベントの無事と成功を祈る儀礼でもある。

(編集部・田中カ)

リアルもオンラインも ビジネスイベントを もっと簡単に

イベント主催者の悩みをすぐに解決できる
イベントマーケティングプラットフォーム

お問い合わせはこちら



充実した機能

オンライン決済 / 領収書データ発行 (インボイス制度対応)
QRコードチェックイン / 来場者・視聴者トラッキング
ビジネスマッチング / タイムテーブル / 抽選 (事前審査)
プロモーションコード / 来場通知メール and more...



BtoB イベント実績多数

ビジネスカンファレンス / セミナー・ウェビナー / 展示会
プライベートショー / 自治体主催イベント
ユーザーコミュニティ / マーケティングイベント / ミートアップ
リアル・オンライン・ハイブリッドイベント

E イベントレジスト株式会社
EventRegist <https://eventregist.com>



イベントの安全をデザインする

—— 現場をつくる人、出展する人、参加する人、三者の無事をつくる小さい革命

演出や集客と違い、イベントの安全は大切ではあるが、問題が起きて初めて気づかれ、何も起きなければ評価されず、“やらなければ”と義務的に取り組むことにもなりがちだ。しかし見えづらいものを付加価値に変えるため、安全をデザインし、現場をつくる人、出展する人、参加する人、の無事を守る小さな革命が、各所ではじまっている。その実践と知恵を、本特集で問いかける。

中央労働災害防止協会

隣のブースで何をつくるか知ってますか？ 3つのリスクを解消するルールと文化

年間6,000人超だった労働災害死者数を700人台へ。1964年の設立以来、60年にわたり職場の安全衛生活動を支えてきた中央労働災害防止協会（中災防）に、イベント・展示会現場が抱える安全課題と処方箋を問いかけた。

混在作業（カオス）な現場の見えないリスク

展示会の施工日。ブースではA社の施工業者が壁面を組み、数メートル先の隣のブースではB社の出展担当者が什器を配置し、通路向こうでは搬入トラックが荷下ろしをしている。製造業や建設業と異なるイベント設営現場の特性とは、多数の会社が互いの作業計画を知らないまま同一空間で同時に動く“混在作業現場”であること。建設現場ではゼネコンが元請けとして全体を統括するが、イベント現場には必ずしも一元的な指揮系統がない。

「各社の作業計画を共有して、ゾーニングや時間帯調整を行うことが必要ですが、短い施工期間で多くの出展者と施工業者がいる展示会では難しいのも理解できます」と中央労働災害防止協会技術支援部の大沼満さんは現状を語る。同じ技術支援部の赤羽輝之さんが示したのが、道路工事現場での工程掲示を応用するアイデアだ。「自社の作業以外に、他ブースのデザインや作業工程などすべて把握するのは情報が多すぎる。土木の現場で工程表が掲示されているのを見えると思いますが、同じように、何日の何時からどの業者さんがこういう工事をするというのを見える化するのはどう

でしょう。

これによって他社作業の工程を把握しやすくなり現場運営上の混乱を避けることにつながります。さらに、隣接するブースと声を掛け合って作業することでリスクの低減につながるでしょう。

非定常作業・短期就労と安全具未着用の解消

加えて問題なのが「非定常作業」の性格だ。製造業の生産ラインは定常作業が多く、リスクアセスメントが事前にできるが、イベント現場は数日でゼロから空間を作り上げる非定常の連続で、毎回メンバーも会場も変わる。計画通りに進まないことが常態であり、それがそのままリスクの増大に直結する。

混在・非定常という構造的な問題への有効なアプローチがKYT（危険予知訓練）だ。作業前に危険ポイントを複数人で予測・共有する。イベント業界でも大手施工会社を中心に全体

朝礼でのKYTとヒヤリハット共有がはじまっているが、業界全体への定着には至っていない。限られた時間と人員の中でどこから始めるか。赤羽さんは「まず禁止事項を明確にすること」を勧める。「指示された業務以外に手を出さず」「勝手に現場を離れるな」といった最低限のルールに絞り込んで最初に伝えることが、安全底上げの最も現実的な第一歩だ。

もう一つの課題が短期雇用者への教育だ。人手不足や就労の多様化で短期労働者は増え、定期就労であっても工期2～3日の現場では十分な教育時間が構造的に取りにくい。安全衛生管理支援課の石松みずきさんが提案するのが「事前eラーニング配信」だ。現場に来る前に派遣会社や求人プラットフォームを通じて安全動画を視聴してもらおう仕組みだ。製造業で広がる「入構時1時間教育」の取組み





**警備のプロJSSが
イベントを守り
サーバーも守る**

- 施設警備
- 航空保安警備
- イベント警備
- 身辺警備
- 交通誘導
- 保安警備






事前に“2つの盾”で攻撃対策！ **KATABAMI** Security System

KATABAMI VDP ネットワーク内からVPNの脆弱性を定期検診。発見した脆弱性に対する改善策を提示！

KATABAMI CRA 有事のダメージを最小化、迅速にバックアップデータで復旧可能！



<https://www.j-ss.jp/>
東京 神奈川 千葉 大阪 宮城

ショーテクニカルセンター、始動。



まじめに、まっすぐに。
Ray

株式会社レイ ショーテクニカルユニット

東京事業所	〒143-0006 東京都大田区平和島6-1-1 TRC A棟6F (AE6-5) TEL: 03-5767-5910
関西事業所	〒537-0002 大阪府大阪市東成区深江南3-1-3 TEL: 06-6972-3066



まじめに、まっすぐに。
SHOWTECH.

詳しくはWebをご覧ください
<https://showtech.ray.co.jp/>



に依い、「現場に来てから始めると双方が損をする」という意識を雇用者側が持つことが求められている。

建設現場や製造工場などでヘルメットを着用しないことは「ありえない」が、イベント設営現場では以前より向上している。また未着用の人姿も見られる。大手施工会社のスタッフでは着用が徹底されているが、アルバイトスタッフなどでは未着用も散見される。自社ブースを設営する出展者ではさらに着用率は低い。出展者の意識は、「義務付けられていない」、「考えたことがなかった」、「ヘルメットがない」といった状況だ。

この意識を解決し、着用を徹底するには、どのような方法が考えられるだろうか。

安全配慮義務と付加価値化文化を根付かせるために

「企業が従業員を守る安全配慮義務は、違反したからすぐ刑罰をうけるというわけではありませんが、事故や被害が発生した場合に、損害賠償請求を受けるケースや労働安全衛生法上の安全措置義務違反を問われるケースがあります」(赤羽さん)。「製造業では工場内の事故は直接の責任がなくても企業名や工場名が報道される、という意識から、敷地内では他社からの訪問者も含めて全員に安全指導を徹底する動きが広がっている。イベントで事故が起されれば報道に出るのは施設名ということもあり、刑罰や損害賠償に加えて、ブランディングの低下と機会ロスは大きなものになるでしょ

う。そういうこともあり会場施設が安全ルールを定め、主催者、出展者、施工業者に徹底させる構造が現実的と思う」と大沼さんは話す。

義務化する方向だけでなくインセンティブにする手法も検討できる。製造業では「休業度数率」(100万延べ実労働時間あたりの死傷者数)の公表が定着しており、数値悪化が取引採用に影響する構造が安全意識の向上を促してきた。CSR・ESGの観点からも安全衛生指標の見える化は今後イベント業界にも波及するだろう。

自転車ヘルメットの努力義務化後に被っている人が増えたのも、飲酒運転が激減したのも、罰則強化と社会規範の転換が組み合わさった結果だ。明確なルール化と徹底化することで、“当たり前”になる。日本の産業界の災害件数を減らしてきた中災防の安全文化の定着プロセス「できることからやる」、「言葉にして伝える」、「規範として根付かせる」は、イベント業界が今歩んでいる道にそのまま重なる。

石松さんは、中災防のリソース活用を提案する。会員にならなくても、100人未満の事業場なら安全衛生に関するメール・電話での無料相談が可能で、現場の確認、希望テーマへの出張講演(出前講座)も無料だ。管理監督者向けKYT研修や集合教育のほか、約1時間・約3,000円のオンデマンド動画「アラカルト講座」(熱中症・化学物質管理等)も新たに配信を開始した。中災防のウェブサイト(<https://www.jisha.or.jp/>)から相談窓口にアクセスできる。



中央労働災害防止協会 技術支援部 技術指導課長 大沼 満さん(左)
技術支援部 技術指導課長補佐 赤羽 輝之さん(右)
技術支援部 安全衛生管理支援課長 石松 みずきさん(中央)



私たちが目指すもの



昭栄美術は循環型ディスプレイで展示・イベント業界の持続可能性に取り組んでいます。

**大型3D
プリンター活用**

廃棄物を資源とする
循環システム構築

**FSC認証
木材使用**

環境に配慮した
素材の管理及び使用

**ISO認証
取得**

第三者認証による
継続的な品質保証



業界に先駆けてISO20121の認証を取得し、環境や社会の持続可能性に配慮した展示会・イベントを実現する総合ディスプレイ企業です。

株式会社 昭栄美術

東京本社

東京都中央区明石町8-1
聖路加タワー25F
TEL: 03-5148-6651

大阪オフィス/スタジオ


大阪府大阪市住之江区
南港中1-3-92
TEL: 06-6613-6622

SHOEIベイスタジオ

千葉県市川市加藤新田212-4


佐倉スタジオ

千葉県佐倉市太田2153-1



SYMUNITY GROUP

忘れられないイマーシブ体験を



DEEPLY OFFICIAL WEB SITE

インテックス大阪

ヘルメット着用への試行錯誤 意識改革を業界全体へ

インテックス大阪では、信号機になぞらえたヘルメット着用推進の取組みを試験運用。安全月間リボンは日本展示会協会と共同で、業界全体の意識改革も図る。

インテックス大阪が現在注力するのが、施工現場における安全対策の強化だ。同施設は貸出期間中の安全管理については主催者側の管理に委ねているが、展示会業界全体で安全意識が低いとされる現状と、本来安全を管理すべき主催者側に安全教育の場が少ないことも踏まえ、施設として業界全体への発信を強めてきた。その中心に据えるのがヘルメット着用ルールの整備と、安全月間リボンを通じた業界横断の意識改革だ。

ヘルメット着用義務化の動きは、2024年の安全大会に端を発する。大会を企画するためのヒアリングの段階で、施工業者や協力会社から着用の推進強化を求める声が上がリ、インテックス大阪はその年の大会で義務化を宣言した。しかし動き出すと課題が次々と浮上した。誰がヘルメットを用意するのか、出展者にどう着用を促すのか、運用ルールをどう設計するのか——。「『やります』と宣言したものの、決めてからも課題がいろいろと浮き彫りになってきて」と伴海康太さんは振り返る。義務化を宣言してから正式施行にたどり着くまで、数年にわたる試行錯誤の日々が

続いた。

苦心の末に生み出したのが、「信号機」になぞらえた三段階のルール設定だ。搬入・撤出期間の時間帯や作業状況に応じて、ヘルメット着用を“任意（青）”、“必須（赤）”、“推奨（黄）”に区分する。初日午前の墨出しなど軽微な作業のみの時間帯は“任意”、ピットが開放されて車両や資材と壁面の立ち上げ、出展者が入り交じる時間帯は“必須”、搬入最終日に大まかな設営を終え、危険作業が混在しない段階では“推奨”というイメージだ。天気予報を出すように、当日の搬入出の現場を想像し、どの時間帯が“必須（赤）”で“推奨（黄）”なのかというところを出展者マニュアルの中で発信いただくことを想定している。

「展示会業界の中で危険なのは、やはり混在作業なんですね」と伴海さんは強調する。作業が交錯しない時間帯にまで一律に着用を求めるのではなく、リスクを的確に見極めて必要な対応を求めるのが同施設の基本姿勢だ。

このルールを機能させるため、施設利用前に主催者が搬入・撤出スケジュールをまとめた「安全作業計画書」を作成・提出する仕組

左) 今年の安全月間リボン
右) 昨年の安全大会の様子



危険なのは混在作業 見える化で情報共有

(一財)大阪国際経済振興センター
インテックス事業本部
営業・催事運営担当
伴海 康太さん



みも新たに導入する。ただし、施設側が現場作業を細部まで管理・指示するわけではない。「私たちは施設管理の立場で、実作業を直接コントロールする立場ではないので」と伴海さん。作業管理の責任主体はあくまで主催者であるため、「安全作業計画書」の準備をしてもらう中で、そもそも作業の混在が生まれまいよう、時間軸や作業区画の整理をしたり、その日の危険予知ミーティングを依頼することで、主催者と、作業の主体となる施工業者とのコミュニケーションを促進させることをひとつの目的としている。今年9月から試験運用を開始し、来年4月の正式施行を目指す。安全はコストでもあるという現実を踏まえ、当面は主催者

への過大な負担を避けながら段階的に定着を図っていく方針だ。

安全意識の波及を自施設にとどめない取り組みも進んでいる。インテックス大阪はこれまで約9年間にわたり安全大会を開催し、2024年から、展示会業界が繁忙期を迎える毎年9月を安全月間と設定し、「安全月間リボン」を制作・

配布してきたが、今期から（一社）日本展示会協会（日展協）と共同でこの取り組みを行うこととなった。

施設だけでなく主催者や施工会社など多様な立場の会員を擁する日展協を通じることで、配布ルートが格段に広がり、業界全体へのボトムアップの波及が期待できる。制作は引き続きインテックス大阪が担い、収益事業としてではなく、業界全体に対する安全啓発の一環として位置づけている。

リボンには目に見える「安全のシンボル」としての機能を期待する。「全国の展示会の現場で、本人もそうですし、目にする人にとっても安全のアイコンになって発信されることが大事」と伴海さんは言う。着用者自身の意識喚起にとどまらず、現場全体に安全を想起させる装置として機能させることが狙いだ。施設・主催者・施工会社・出展者が連なる複雑な構造を持つ展示会業界で、安全意識を末端まで浸透させることは容易ではない。だからこそ「安全の波を業界全体に広げたい」という思いを胸に、同施設は今日も発信を続けている。

SAKURA INTERNATIONAL LAS VEGAS OFFICE

アメリカ大陸 各都市の イベント対応致します。



SAKURA International USA, Inc.

555 E.Pamalyln Ave. Suite B Las Vegas, NV 89119, USA
Tel:+1-702-816-2800 Fax:+1-702-816-2801

EN <https://ja.sakurain-lasvegas.com/>

Sakura International サクラインターナショナル株式会社

東京本部 〒135-0042 東京都江東区木場 2-17-13 第二亀井ビル5F
大阪本社 〒541-0051 大阪市中央区備後町1-7-3 ENDO堺筋ビル3F・4F
JP <https://www.sakurain.co.jp>

INTEX 安全大会 2026

OSAKA

安全は声かけ・確認・思いやり

7月初旬 来場登録開始予定

2026年8月4日(火) インテックス大阪 5号館

**労働災害のない安全な現場づくりを共創する
パートナーを募集しています。**

1口 **33,000円(税込)** 申込 6/30(火)まで!!

2つのプランからお選びください

協賛出展プラン

協賛プラン

詳細・申込みは
ウェブから

インテックス大阪 オリジナルキャラクター イヌテックスくん

展示会の「安全月間」2026年9月1日(火)～30日(水)

安全月間リボン発売中

発行元：
(一社)日本展示会協会

「安全」を
見える形に!

INTEX OSAKA

詳細・お申込はウェブから!
<https://intex-anzen.com>

構造的問題と現場のリアル



紙面の都合上、割愛している場合があります。
自由回答全文は Web 記事にて掲載

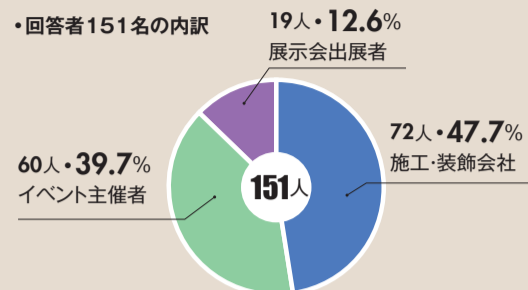
主催者・施工装飾会社・出展者、151 人の声

イベントの現場では主催者・施工装飾会社・出展者の3者がそれぞれ異なる立場で安全に向き合っている。アンケートでは「熱中症対策」への関心が高い一方、「ヘルメット着用」でさえ徹底が難しいという意識の差も浮き彫りになった。自由回答では、人と組織の連携、安全意識とルール、工期・工程の設計など、構造的問題や見えづらい共通課題も浮かび上がる。この声から、現場に実装できる安全をともに考えたい。

調査内容

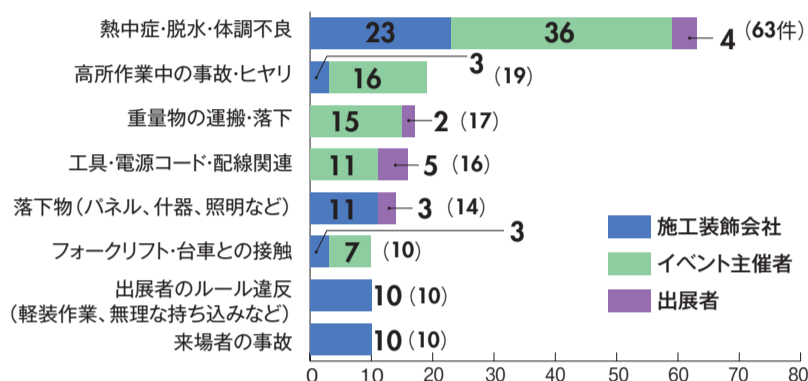
- ・調査名：イベントの安全をデザインするアンケート
- ・調査対象：イベント主催者・施工装飾会社・展示会出展者
- ・調査方法：Google フォームによるウェブアンケート
- ・調査期間：2026年5月15日～21日

・回答者151名の内訳



■ヒヤリとした経験・報告について

Q この1年間で、設営現場でヒヤリとした経験／報告を受けたことはありますか？(複数回答)



*複数回答。両方で設問が異なるため単純比較ではなく参考値として掲載
*「特になし」の回答も48件(主催者24、施工装飾会社16、出展者8)

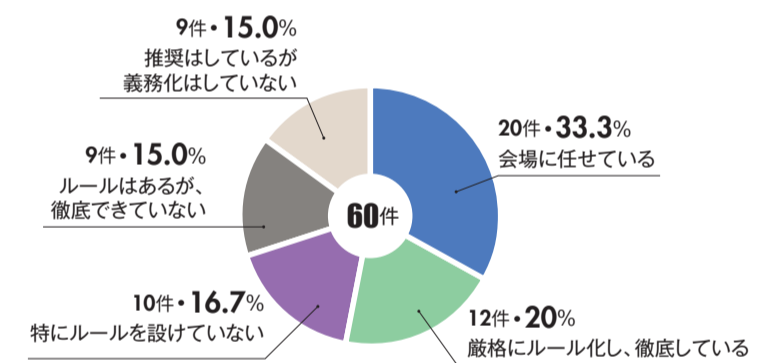
『熱中症・脱水・体調不良』は最頻出

左記のグラフでは、【ヒヤリハット経験・報告】の上位8項目を抜粋した。10件未満の回答は、下記の通り

- 「主催者」の回答 (各1件)
「配線工事でのトラブル(床にコゲができた)」、「他イベントの出展者が子連れで来場し、子どもが設営中走り回っていた」「搬入口の衝突事故」「紛失や盗難」
- 「施工・装飾会社」の回答 (各1件)
「撤去時の運搬」「映像機材」「造作物の転倒」「展示物破損事故」「局所的サーバーアクセスの負荷」「撤去前の空ケースの移動」「装飾資材落下による出展機材破損」「部材の接触による天井接触・破損」「職人同士の接触」など
- 「出展者の回答」の回答
「通路が狭く、人とぶつかりそうになった」(3件)「郵送した荷物の紛失」(1件)
最も回答の多い『熱中症・体調不良』は、これからの季節、立場を問わない最重要課題として注意喚起が必要だ。また、少数報告であっても早期に収集・共有することで、事故を未然に防ぐ活用が求められる。

■ヘルメット着用について

Q 【主催者】出展者のヘルメット着用ルールについて貴社・団体が主催する展示会ではどう運用していますか？



Q 【施工装飾会社】出展者にヘルメット着用を求めるとどんな反応が多いですか？(複数回答)

強く言えない(自社スタッフは徹底)	27件
そもそも、出展者に配布していない	27件
素直に従ってくれる	16件
持って歩くだけのことが多い	3件
「短時間だから」と断られる	2件
「スーツに合わない」と断られる 他	13件

Q 【出展者】ヘルメット着用について率直にどう思いますか？(複数回答)

重要だと思う	9件
着用を求められたことがなく、考えたことがない	8件
必要だが、面倒に感じる	4件
配布されないの、着用しようがない	2件
短時間の作業では不要に感じる	1件
スーツや服装に合わない	1件
会場側がもっと厳しくルール化してほしい	1件

施工・撤出時にはヘルメット着用が求められるが実際の現場では、施工・装飾会社では徹底されているものの、立ち合い時の出展者へのルールの徹底や、強制は難しいという実態がある。出展者側も「求められたことがない」、一方で「重要だと感じる」の意見も

■3者が抱える、現場の課題

●主催者

<人・組織の連携>

- ・会場ルール、主催者ルール、担当会社のルールの優先順位と適用範囲の設定
- ・新規施工業者との現場で会場との調整が不十分なため、設営時にトラブルになりかけた

<安全意識とルール>

- ・会社によって、安全管理のレベルの差が大きい
- ・安全に対する意識に個人差がある
- ・こちらから安全対策は積極的に持ちかけることが必要

<工期・工程の設計>

- ・設営より撤収の時の方が危ない。(中略) 撤収の時は出展者も施工さんもみんな急いでいて事故りそうになったことが多々あります

<熱中症対策・空調問題>

- ・夏場の熱中症対策については、出展者・施工会社に加え、会場側の対策も必要だと感じる(抜粋)

<自然災害・非常時対応>

- ・自然災害が増えている昨今、その対応をルール化した方が良い気がする。場当たりの対応だと現場が混乱しそう

●施工・装飾会社

<人・組織の連携>

- ・設営時間・撤去時間が少ない。焦らされる為危機管理が劣る。余裕を持った設営時間枠と撤去時間枠があるとよい 夏の日中の作業はほんとに危ない

- ・設営・撤去工程において、各作業の依存関係が十分に考慮されておらず、結果として安全確認や適切な施工手順を確保する時間が不足していることに強い危機感を持っています(一部抜粋)

- ・各セクションの連携が曖昧なので、施工管理者をたてる必要がある現場が多い

<安全意識とルール>

- ・建設業のような安全基準がなく、どちらかというと各企業に委ねられている気がする(一部抜粋)

- ・喫煙管理、ヘルメット着用、脚立作業、車両の運転などの安全管理については、警備員の声掛けにはとても寂しい対応をされています。それが、原因で退職する警備員もおります(一部抜粋)

- ・通路内の方が心配です。日雇い労働者の中には高齢の方や、あまり周囲のことを考えな

- い人がいて、ものを運んでいる時に、平気でぶつかってきます。日雇いの労働者等にどのような新規入場者教育を施すかはとても大事なのではないかと感じています(一部抜粋)

<工期・工程の設計>

- ・深夜に及ぶ設営作業のため、注意力の低下から危険な状態が発生しやすい
- ・工期が短く、施工会社作業日程と出展者作業日程を完全に分けることが困難なため、施工会社作業の近くで出展者作業が行われる場面があること

<作業環境と動線>

- ・小間どうしの導線の狭さ、撤出時の出展者を含め各社一斉作業による危険予知の難しさ
- ・木工裏や壁裏など、立ち入る可能性が少しでもあるなら設計の段階で一人一人入れる余剰が欲しい(一部抜粋)
- ・高所作業が発生した際に脚立等が安全に設置できない状況となっていることが多い

<熱中症対策・空調問題>

- ・展示会によりますが、夏場の設営初日に該当する日に会場内の空調(エアコン)を入れない事がある(出展社が入る設営最終日等はエアコンは入っている事は多いですが...)

●出展者

<安全意識とルール>

- ・これまで事故は経験したことないが、危険を感じたことは複数回ある。主催者から何か安全について、口頭などで指示や案内があった記憶はない

<廃棄物の放置>

- ・施工日における通路の整理、通路ゴミのこまめな撤去。通行できないし大変危険。通路に置くことが慣例になっているが、指定された場所に持っていくという方法でも良いのでルールを整備してほしい

<施工会社選定・発注管理>

- ・施工会社を自社で頼む場合と、主催者が手配される場合があり、自社で依頼した場合の意識として、安全面にももっと配慮が必要なのだと感じました

<熱中症対策・空調問題>

- ・搬入日は暑いですが、仕方ないかもですが、...

展示会 開催宣言！

Interop Tokyo 2026

インターネットの進化を支えた 32 年 AI インフラの時代へ



株式会社ナノオプト・メディア
代表取締役社長
大嶋 康彰 さん

1994年、インターネットという言葉がまだ一般に届いていなかった時代に産声を上げた Interop Tokyo。以来 32 年、ネットバブルの熱狂もリーマンショックもコロナ禍も乗り越え開催を続けてきた。2026年6月10日(水)から12日(金)の3日間、「Interop Tokyo 2026」として開幕する同展示会。主催する株式会社ナノオプト・メディア代表取締役社長の大嶋康彰さんに歩みと見どころを聞いた。

大嶋康彰さんと Interop の縁は 1994 年の学生時代にさかのぼる。米ラスベガスの COMDEX にインターンとして参加した際に Windows 95 発表の熱気を感じ、インターネット普及が始まる前の Interop を見学したのが最初の出会いだ。その後ナノオプト・メディアに入社して 30 年余り、この一つの展示会と歩み続けてきた。入社当時があったデータショウやコミュニケーション東京は CEATEC へと変わり、ネットバブル崩壊やリーマンショックのたびに多くの展示会が姿を消した。本家のアメリカの Interop も独立開催を終え、現在はコミュニケーション・コラボレーション分野のイベント「Enterprise Connect」に統合されている。今や日本の Interop は、この分野のパブリックショーとして世

界でも唯一に近い存在だ。「海外に本社がある企業さんも注目いただいている。本気でやれる公開の場として見てもらっている」(大嶋さん)。

産学一体の ShowNet が つくる「生きた実験場」

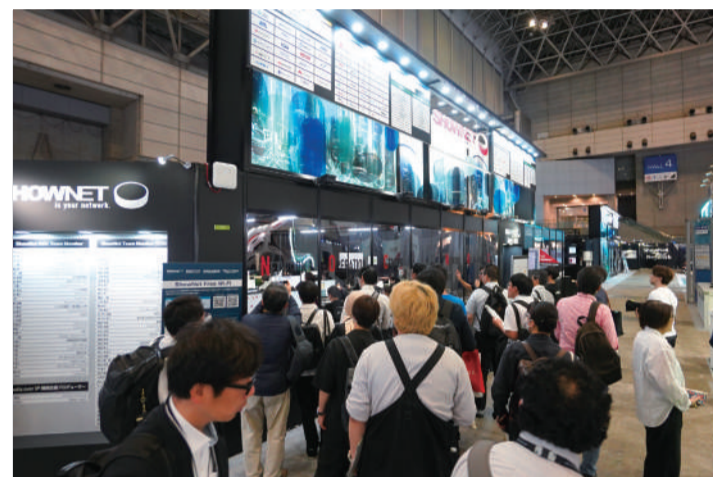
Interop 最大の特徴の一つが「ShowNet (ショーネット)」だ。展示会期のためだけに産学のエンジニアが自社機器を持ち寄り、本物のインターネット環境を会場内に構築する実証実験の場だ。インターネット規格は各社で実装に差が生じ、自社製品同士はつながっても他社とつなぐと不具合が出る課題は創設から繰り返されてきた。アメリカの Interop が ShowNet を廃止した後も、日本だけが継続。「それが支持され続けている一番の理由だと思っています」。

ShowNet には各分野のエースが集うネットワークオペレーションセンター (NOC) を中核に、一般公募の学生や社会人が ShowNet チームとして参加する。準備は 10 月に始まり、5 月末に展示ホールへ搬入、2 週間の事前検証を経て本番を迎える。ゼロからラックを組みケーブルを引く体験が若いエンジニアを育て、数百人規模のコミュニティを形成してきた。「年に 1 回の展示会で終わらない要素こそが Interop のフラッグシップ」(大嶋さん)。

AI インフラと同時開催展で 来場者層の裾野が広がる

今年のテーマは「AI インフラ」だ。Interop が扱うのは AI を「使う側」ではなく「インフラ側」——通信、エネルギー、データセンター、ネットワーク機器だ。NTT が推進する IOWN (アイオン) 構想など次世代光通信技術から、昨年始まった特別企画「データセンターサミット」まで、AI 社会を下支えするソリューションが幕張に集まる。実行委員長の村井純教授主導による宇宙×インターネットのセッションも好評だ。

今年から「AI Native EXPO」が同時開催に加わる。「APPS JAPAN」から来場者の関心シフトに合わせてリニューアルしたもので、開発・運用・業務実装・ガバナンスの 4 軸で展示とセミナーを構成する。



ShowNet はインターネット環境を会場内に構築する実証実験の場

「Vision AI Expo」はデジタルサイネージジャパンから派生し、ロボットや自動運転など「フィジカル AI」の応用分野をカバーする。「中小企業さんも AI 対応が遅れているところが多い。ぜひ見てほしい」と大嶋さん。今年は増床も後押しし、目標の 15 万人達成への期待が高まる。

通年のセミナーと Best of ShowAward

ナノオプト・メディアが「メディア」を自称するには理由がある。テーマ別セミナーを年間を通じて開催し、出展者・来場者との接点を展示会期以外でも維持する。展示会と対等なセミナー事業の運営こそが、展示会専業主催者との大きな差別化だ。

同展の名物が Best of ShowAward だ。500 社超の出展者からエントリー

される新製品・サービスを、業界のメディア関係者・学識者らによって構成される審査委員会が評価する。技術革新性、市場性、価格の妥当性など多角的な基準で選考し、Interop 会期 1 日目に受賞企業が決定する。また、受賞製品の一部は、審査員が登壇するセミナーでも紹介される。近年は AI 活用度も評価のポイントに加わった。「Interop は出展者の熱量がハンパない」という評判が業界に定着しているのもその表れだ。

「AI を使う側も作る側も、技術の今を見て体感できる。3 日間を通じてセミナーと展示を組み合わせで学んでほしい」と大嶋さんは呼びかける。インターネット社会から AI 社会へ——32 年間現場で見続けてきた主催者の言葉に、業界全体を底上げしようとする想いがにじむ。



セミナーではインターネット、AI、IT に関わる最新情報・技術が共有される

国内最大級のインターネットテクノロジーイベント

Interop[®]26

Tokyo

2026年6月10日(水) > 12日(金)

幕張メッセ (国際展示場 ホール3~8 / 国際会議場)

事前登録制 無料

最新情報はここから

インターロップ 検索

博覧会・展示会の企画に参画させて下さい。

お問い合わせは、下記事業所へ

■ イベント事業本部 〒136-0082 東京都江東区新木場1-8-21
TEL 03(3521)3522 FAX 03(3521)3524

■ 千葉事業所 〒261-7715 千葉市美浜区中瀬2-6-1WBGマリアーイスト15F
TEL 043(273)2441 FAX 043(273)2531

■ 池袋サンシャイン事業所 〒170-0013 東京都豊島区東池袋3-1-4 文化会館3F
TEL 03(3982)9551 FAX 03(3982)9564

■ 大阪事業所 〒550-0011 大阪市西区阿波座1-9-9 阿波座パークビル
TEL 06(6543)2880 FAX 06(6543)2884

■ 本社事業本部 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-8-7 表参道DAビル
TEL 03(3409)3333 FAX 03(3409)0104

■ 本社 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-8-7
TEL 03(3409)3331 FAX 03(3409)3827

IIDA

飯田電機工業株式会社

<https://iida.jp>

新 社長インタビュー

40年の現場が育てた“多彩な事業の経験”から描く次の一手

2026年3月、株式会社レイに初めて創業家以外の社長が誕生した。映像機材レンタル(ショーテック)、映像コンテンツ制作(クリエイティブデザイン)、ポストプロダクション(McRAY)、イベント・プロモーションの企画制作(コミュニケーションデザイン)という4事業を擁するレイを率いることになった磯部陽一社長はレーザー演出のオペレーターとして入社して以来、現場・営業・企画・海外経営と約40年をかけてすべての現場を歩んできた。

—就任から2ヶ月。今の気持ちは

磯部 まだ実感がない、というのが本音です。就任前から2年ほど業務統括を担っていたので、やることはそんなに変わっていない。前社長(分部至郎氏)も取締役でいますし、肩書きが変わっただけだなという感覚です。実務的にはわりとスムーズに入れています。

—前社長・至郎氏、創業者・日出男氏から引き継いだものは

磯部 「とにかく利益を出す、赤字にしない」という精神です。会社が厳しい状況になったことも何度かありましたが、創業の二人の、“社員を養う”という強い責任感をそのまま引き継いでいます。ビジョンや理念をあまり語らない方たちでしたが、「この業界でインディペンデントとしての独立性を保ちながら、会社として成長」という軸は大事にしたいと思っています。

—磯部さん自身のキャリアの強みはどこにあると思いますか

磯部 当社の社員はユニット間を横断することが少ないのですが、私はレーザーのオペレーターから始まって、20代で福岡の営業所長、機材の営業、企画制作のプロデューサー、上海の合弁会社(上海光泉会展有限公司)の董事総経理と、ほぼすべての現場を経験しました。経営者として数字だけでなく、現場のトラブルや代理店さんとのめごとを聞いたときに、「こういう解決法があるよ」と自分の経験値から見える。機材レンタルも映像制作も、全部経験し

ているのが強みだと思っています。

—ショーテックの現状と戦略を教えてください

磯部 今はエンタメ市場が全体的に好調です。まずはここに投資しながら、エンタメ業界の映像演出会社で圧倒的な第2位の地位を固めることが近い将来の目標です。トップのヒビノさんの背中を追っていきたい。機材投資と並行して、中国・深圳のメーカーと新しいLEDの共同開発もやっています。コンサートの演出家から「こういうものがあつたら」という声を聞いて、開発費をうちが持つて試作品を作らせる。そういう仕掛けも動かしています。

—新しいショーテクニカルセンターのコンセプトを教えてください

磯部 倉庫スペースが不足して移転を考えていたところに、旧オフィスに近い東京流通センター(TRC)のワンフロア全部を借りられることになり、どうせなら倉庫だけでなく、元気に楽しく働ける環境を作って、お客さんを堂々と呼べる場にしようということになりました。オフィスもきれいにし、デモルームも拡大し、「映像に関する研究施設」というコンセプトにしました。社員一人ひとりが好きな分野を勉強したりチャレンジして、自己実現ができるオフィスにして、それが最終的に仕事につながればいいなという思いが込められています。

—リアルイベントやライブが社会に果たす役割について、どうお考えですか



株式会社レイ 代表取締役社長

磯部 陽一さん

株式会社レイ 代表取締役社長 磯部陽一(いそべ よういち)氏 1966年7月4日生。1987年6月入社。機材レンタル営業、企画制作プロデューサーを経て、2014年より上海光泉会展有限公司 董事総経理として4年半赴任。帰国後、コミュニケーションデザイン事業本部長、管理ユニット本部長を歴任し、2023年8月取締役就任。2026年3月、代表取締役社長に就任。

磯部 リアルで人が集まることは人間の社会生活を豊かにするために絶対必要なだと改めて思います。世の中はデジタル化が進んでいますが、VRも思ったより進んでいない。結局リアル空間の中にどう映像をインストールするかというのが我々のメインメインです。リアルと映像の融合、そこがレイとして目指す方向だと思っています。

—経営面で変えていきたいことは

磯部 創業者の二人は資本家で、私は社長だけ労働者なんです。近江商人の「三方よし」じゃないですけど、社員も含めたステークホルダー全体への責任を強く意識したい。機材だけではなく、人への投資が重要と考えています。教育だけでなく、オフィスの環境も、働き方も、社内の交流も、進めていきたいですね。

—最後に、3～5年後の目標と若手社員へのメッセージをお願いします

磯部 今460人ほどいる社員を500人に増やして、みんなが好きなことをしてサラリーがもらえる会社になりたいですね。所信表明でもはっきり言ったんですが、情性で仕事をしてほしくないし、「食うためだけにここにいる」という人には来てほしくない。

若い人へのアドバイスは「その場を楽しめ」ということです。

ミスをして、いい経験をしたと思うだけで全然違う精神構造になれる。もの見方を変えるだけで事象が変わってくる。そういう感覚が若いうちから持てると、仕事はずっと面白くなると思います。調べれば詳しくなれるし、詳しくなれば好きになる。知る手段はいくらでもある時代なんですから。

EVENT MARKETING からの大事なお知らせ

イベントテクノロジー特集

次の2026年6月30日号で特集します

テクノカット、嫌いじゃない♡

- 7月31日発行 スポーツイベントのいま!
- 8月31日発行 サステナブルをイベントの強みに
- 9月30日発行 育てよう、集めようイベント人材
- 10月31日発行 エンタメ x ビジネス イベント
- 11月30日発行 イベント空間デザイン

広告出稿の問合せはこちら▷株式会社 MICE 研究所
info@event-marketing.co.jp (担当: 田中力)

展示会 イベント スケジュールは Web で 無料の

イベントマーケティングウェブサイトへ
https://www.event-marketing.co.jp

9月～12月の展示会・イベントスケジュール

10月の展示会・イベント

東京・名古屋・大阪・神戸・京都版 全国版

2026年9月の展示会・イベント・国際会議スケジュール(仮定)

- 9月1日-2日 [オンラインに限定] MariaZine Day 2026 Autumn
- 9月1日-1日 第99回日本機械学会秋季大会(仮定)
- 9月2日-4日 第12回 Japan Marketing Week [仮] 東京ビッグサイト
- 9月2日-4日 第15回 タイフスタイル Week [仮] 東京ビッグサイト
- 9月2日-4日 [オンラインに限定] CEDEC 2026(仮定)
- 9月3日-4日 アドタイ・チイス 10th Special Days(仮定)
- 9月3日-4日 第17回Pving-0(仮定)
- 9月11-11日 国際プロフェッショナル・サミット(仮定)

10月2日-4日 Makur Fair Tokyo 2026(仮定)

10月2日-4日 第100回日本機械学会秋季大会(仮定)

10月2日-4日 第12回 Japan Marketing Week [仮] 東京ビッグサイト

10月2日-4日 第15回 タイフスタイル Week [仮] 東京ビッグサイト

10月2日-4日 [オンラインに限定] CEDEC 2026(仮定)

10月3日-4日 アドタイ・チイス 10th Special Days(仮定)

10月3日-4日 第17回Pving-0(仮定)

10月11-11日 国際プロフェッショナル・サミット(仮定)

10月11-11日 第100回日本機械学会秋季大会(仮定)

10月11-11日 第12回 Japan Marketing Week [仮] 東京ビッグサイト

10月11-11日 第15回 タイフスタイル Week [仮] 東京ビッグサイト

10月11-11日 [オンラインに限定] CEDEC 2026(仮定)

10月12日-14日 アドタイ・チイス 10th Special Days(仮定)

10月12日-14日 第17回Pving-0(仮定)

10月12日-14日 国際プロフェッショナル・サミット(仮定)

10月12日-14日 第100回日本機械学会秋季大会(仮定)

10月12日-14日 第12回 Japan Marketing Week [仮] 東京ビッグサイト

10月12日-14日 第15回 タイフスタイル Week [仮] 東京ビッグサイト

10月12日-14日 [オンラインに限定] CEDEC 2026(仮定)

10月13日-14日 アドタイ・チイス 10th Special Days(仮定)

10月13日-14日 第17回Pving-0(仮定)

10月13日-14日 国際プロフェッショナル・サミット(仮定)

10月13日-14日 第100回日本機械学会秋季大会(仮定)

10月13日-14日 第12回 Japan Marketing Week [仮] 東京ビッグサイト

10月13日-14日 第15回 タイフスタイル Week [仮] 東京ビッグサイト

10月13日-14日 [オンラインに限定] CEDEC 2026(仮定)

10月14日-14日 アドタイ・チイス 10th Special Days(仮定)

10月14日-14日 第17回Pving-0(仮定)

10月14日-14日 国際プロフェッショナル・サミット(仮定)

10月14日-14日 第100回日本機械学会秋季大会(仮定)

10月14日-14日 第12回 Japan Marketing Week [仮] 東京ビッグサイト

10月14日-14日 第15回 タイフスタイル Week [仮] 東京ビッグサイト

10月14日-14日 [オンラインに限定] CEDEC 2026(仮定)

10月15日-15日 アドタイ・チイス 10th Special Days(仮定)

10月15日-15日 第17回Pving-0(仮定)

10月15日-15日 国際プロフェッショナル・サミット(仮定)

10月15日-15日 第100回日本機械学会秋季大会(仮定)

10月15日-15日 第12回 Japan Marketing Week [仮] 東京ビッグサイト

10月15日-15日 第15回 タイフスタイル Week [仮] 東京ビッグサイト

10月15日-15日 [オンラインに限定] CEDEC 2026(仮定)

10月16日-16日 アドタイ・チイス 10th Special Days(仮定)

10月16日-16日 第17回Pving-0(仮定)

10月16日-16日 国際プロフェッショナル・サミット(仮定)

10月16日-16日 第100回日本機械学会秋季大会(仮定)

10月16日-16日 第12回 Japan Marketing Week [仮] 東京ビッグサイト

10月16日-16日 第15回 タイフスタイル Week [仮] 東京ビッグサイト

10月16日-16日 [オンラインに限定] CEDEC 2026(仮定)

10月17日-17日 アドタイ・チイス 10th Special Days(仮定)

10月17日-17日 第17回Pving-0(仮定)

10月17日-17日 国際プロフェッショナル・サミット(仮定)

10月17日-17日 第100回日本機械学会秋季大会(仮定)

10月17日-17日 第12回 Japan Marketing Week [仮] 東京ビッグサイト

10月17日-17日 第15回 タイフスタイル Week [仮] 東京ビッグサイト

10月17日-17日 [オンラインに限定] CEDEC 2026(仮定)

10月18日-18日 アドタイ・チイス 10th Special Days(仮定)

10月18日-18日 第17回Pving-0(仮定)

10月18日-18日 国際プロフェッショナル・サミット(仮定)

10月18日-18日 第100回日本機械学会秋季大会(仮定)

10月18日-18日 第12回 Japan Marketing Week [仮] 東京ビッグサイト

10月18日-18日 第15回 タイフスタイル Week [仮] 東京ビッグサイト

10月18日-18日 [オンラインに限定] CEDEC 2026(仮定)

10月19日-19日 アドタイ・チイス 10th Special Days(仮定)

10月19日-19日 第17回Pving-0(仮定)

10月19日-19日 国際プロフェッショナル・サミット(仮定)

10月19日-19日 第100回日本機械学会秋季大会(仮定)

10月19日-19日 第12回 Japan Marketing Week [仮] 東京ビッグサイト

10月19日-19日 第15回 タイフスタイル Week [仮] 東京ビッグサイト

10月19日-19日 [オンラインに限定] CEDEC 2026(仮定)

10月20日-20日 アドタイ・チイス 10th Special Days(仮定)

10月20日-20日 第17回Pving-0(仮定)

10月20日-20日 国際プロフェッショナル・サミット(仮定)

10月20日-20日 第100回日本機械学会秋季大会(仮定)

10月20日-20日 第12回 Japan Marketing Week [仮] 東京ビッグサイト

10月20日-20日 第15回 タイフスタイル Week [仮] 東京ビッグサイト

10月20日-20日 [オンラインに限定] CEDEC 2026(仮定)

10月21日-21日 アドタイ・チイス 10th Special Days(仮定)

10月21日-21日 第17回Pving-0(仮定)

10月21日-21日 国際プロフェッショナル・サミット(仮定)

10月21日-21日 第100回日本機械学会秋季大会(仮定)

10月21日-21日 第12回 Japan Marketing Week [仮] 東京ビッグサイト

10月21日-21日 第15回 タイフスタイル Week [仮] 東京ビッグサイト

10月21日-21日 [オンラインに限定] CEDEC 2026(仮定)

10月22日-22日 アドタイ・チイス 10th Special Days(仮定)

10月22日-22日 第17回Pving-0(仮定)

10月22日-22日 国際プロフェッショナル・サミット(仮定)

10月22日-22日 第100回日本機械学会秋季大会(仮定)

10月22日-22日 第12回 Japan Marketing Week [仮] 東京ビッグサイト

10月22日-22日 第15回 タイフスタイル Week [仮] 東京ビッグサイト

10月22日-22日 [オンラインに限定] CEDEC 2026(仮定)

10月23日-23日 アドタイ・チイス 10th Special Days(仮定)

10月23日-23日 第17回Pving-0(仮定)

10月23日-23日 国際プロフェッショナル・サミット(仮定)

10月23日-23日 第100回日本機械学会秋季大会(仮定)

10月23日-23日 第12回 Japan Marketing Week [仮] 東京ビッグサイト

10月23日-23日 第15回 タイフスタイル Week [仮] 東京ビッグサイト

10月23日-23日 [オンラインに限定] CEDEC 2026(仮定)

10月24日-24日 アドタイ・チイス 10th Special Days(仮定)

10月24日-24日 第17回Pving-0(仮定)

10月24日-24日 国際プロフェッショナル・サミット(仮定)

10月24日-24日 第100回日本機械学会秋季大会(仮定)

10月24日-24日 第12回 Japan Marketing Week [仮] 東京ビッグサイト

10月24日-24日 第15回 タイフスタイル Week [仮] 東京ビッグサイト

10月24日-24日 [オンラインに限定] CEDEC 2026(仮定)

10月25日-25日 アドタイ・チイス 10th Special Days(仮定)

10月25日-25日 第17回Pving-0(仮定)

10月25日-25日 国際プロフェッショナル・サミット(仮定)

10月25日-25日 第100回日本機械学会秋季大会(仮定)

10月25日-25日 第12回 Japan Marketing Week [仮] 東京ビッグサイト

10月25日-25日 第15回 タイフスタイル Week [仮] 東京ビッグサイト

10月25日-25日 [オンラインに限定] CEDEC 2026(仮定)

10月26日-26日 アドタイ・チイス 10th Special Days(仮定)

10月26日-26日 第17回Pving-0(仮定)

10月26日-26日 国際プロフェッショナル・サミット(仮定)

10月26日-26日 第100回日本機械学会秋季大会(仮定)

10月26日-26日 第12回 Japan Marketing Week [仮] 東京ビッグサイト

10月26日-26日 第15回 タイフスタイル Week [仮] 東京ビッグサイト

10月26日-26日 [オンラインに限定] CEDEC 2026(仮定)

10月27日-27日 アドタイ・チイス 10th Special Days(仮定)

10月27日-27日 第17回Pving-0(仮定)

10月27日-27日 国際プロフェッショナル・サミット(仮定)

10月27日-27日 第100回日本機械学会秋季大会(仮定)

10月27日-27日 第12回 Japan Marketing Week [仮] 東京ビッグサイト

10月27日-27日 第15回 タイフスタイル Week [仮] 東京ビッグサイト

10月27日-27日 [オンラインに限定] CEDEC 2026(仮定)

10月28日-28日 アドタイ・チイス 10th Special Days(仮定)

10月28日-28日 第17回Pving-0(仮定)

10月28日-28日 国際プロフェッショナル・サミット(仮定)

10月28日-28日 第100回日本機械学会秋季大会(仮定)

10月28日-28日 第12回 Japan Marketing Week [仮] 東京ビッグサイト

10月28日-28日 第15回 タイフスタイル Week [仮] 東京ビッグサイト

10月28日-28日 [オンラインに限定] CEDEC 2026(仮定)

10月29日-29日 アドタイ・チイス 10th Special Days(仮定)

10月29日-29日 第17回Pving-0(仮定)

10月29日-29日 国際プロフェッショナル・サミット(仮定)

10月29日-29日 第100回日本機械学会秋季大会(仮定)

10月29日-29日 第12回 Japan Marketing Week [仮] 東京ビッグサイト

10月29日-29日 第15回 タイフスタイル Week [仮] 東京ビッグサイト

10月29日-29日 [オンラインに限定] CEDEC 2026(仮定)

10月30日-30日 アドタイ・チイス 10th Special Days(仮定)

10月30日-30日 第17回Pving-0(仮定)

10月30日-30日 国際プロフェッショナル・サミット(仮定)

10月30日-30日 第100回日本機械学会秋季大会(仮定)

10月30日-30日 第12回 Japan Marketing Week [仮] 東京ビッグサイト

10月30日-30日 第15回 タイフスタイル Week [仮] 東京ビッグサイト

10月30日-30日 [オンラインに限定] CEDEC 2026(仮定)

10月31日-31日 アドタイ・チイス 10th Special Days(仮定)

10月31日-31日 第17回Pving-0(仮定)

10月31日-31日 国際プロフェッショナル・サミット(仮定)

10月31日-31日 第100回日本機械学会秋季大会(仮定)

10月31日-31日 第12回 Japan Marketing Week [仮] 東京ビッグサイト

10月31日-31日 第15回 タイフスタイル Week [仮] 東京ビッグサイト

10月31日-31日 [オンラインに限定] CEDEC 2026(仮定)

11月1日-1日 アドタイ・チイス 10th Special Days(仮定)

11月1日-1日 第17回Pving-0(仮定)

11月1日-1日 国際プロフェッショナル・サミット(仮定)

11月1日-1日 第100回日本機械学会秋季大会(仮定)

11月1日-1日 第12回 Japan Marketing Week [仮] 東京ビッグサイト

11月1日-1日 第15回 タイフスタイル Week [仮] 東京ビッグサイト

11月1日-1日 [オンラインに限定] CEDEC 2026(仮定)

11月2日-2日 アドタイ・チイス 10th Special Days(仮定)

11月2日-2日 第17回Pving-0(仮定)

11月2日-2日 国際プロフェッショナル・サミット(仮定)

11月2日-2日 第100回日本機械学会秋季大会(仮定)

11月2日-2日 第12回 Japan Marketing Week [仮] 東京ビッグサイト

11月2日-2日 第15回 タイフスタイル Week [仮] 東京ビッグサイト

11月2日-2日 [オンラインに限定] CEDEC 2026(仮定)

11月3日-3日 アドタイ・チイス 10th Special Days(仮定)

11月3日-3日 第17回Pving-0(仮定)

11月3日-3日 国際プロフェッショナル・サミット(仮定)

11月3日-3日 第100回日本機械学会秋季大会(仮定)

11月3日-3日 第12回 Japan Marketing Week [仮] 東京ビッグサイト

11月3日-3日 第15回 タイフスタイル Week [仮] 東京ビッグサイト

11月3日-3日 [オンラインに限定] CEDEC 2026(仮定)

11月4日-4日 アドタイ・チイス 10th Special Days(仮定)

11月4日-4日 第17回Pving-0(仮定)

11月4日-4日 国際プロフェッショナル・サミット(仮定)

11月4日-4日 第100回日本機械学会秋季大会(仮定)

11月4日-4日 第12回 Japan Marketing Week [仮] 東京ビッグサイト

11月4日-4日 第15回 タイフスタイル Week [仮] 東京ビッグサイト

11月4日-4日 [オンラインに限定] CEDEC 2026(仮定)

11月5日-5日 アドタイ・チイス 10th Special Days(仮定)

11月5日-5日 第17回Pving-0(仮定)

11月5日-5日 国際プロフェッショナル・サミット(仮定)

11月5日-5日 第100回日本機械学会秋季大会(仮定)

11月5日-5日 第12回 Japan Marketing Week [仮] 東京ビッグサイト

11月5日-5日 第15回 タイフスタイル Week [仮] 東京ビッグサイト

11月5日-5日 [オンラインに限定] CEDEC 2026(仮定)

11月6日-6日 アドタイ・チイス 10th Special Days(仮定)

11月6日-6日 第17回Pving-0(仮定)

11月6日-6日 国際プロフェッショナル・サミット(仮定)

11月6日-6日 第100回日本機械学会秋季大会(仮定)

11月6日-6日 第12回 Japan Marketing Week [仮] 東京ビッグサイト

11月6日-6日 第15回 タイフスタイル Week [仮] 東京ビッグサイト

11月6日-6日 [オンラインに限定] CEDEC 2026(仮定)

11月7日-7日 アドタイ・チイス 10th Special Days(仮定)

11月7日-7日 第17回Pving-0(仮定)

11月7日-7日 国際プロフェッショナル・サミット(仮定)

11月7日-7日 第100回日本機械学会秋季大会(仮定)

11月7日-7日 第12回 Japan Marketing Week [仮] 東京ビッグサイト

11月7日-7日 第15回 タイフスタイル Week [仮] 東京ビッグサイト

11月7日-7日 [オンラインに限定] CEDEC 2026(仮定)

11月8日-8日 アドタイ・チイス 10th Special Days(仮定)

11月8日-8日 第17回Pving-0(仮定)

11月8日-8日 国際プロフェッショナル・サミット(仮定)

11月8日-8日 第100回日本機械学会秋季大会(仮定)

11月8日-8日 第12回 Japan Marketing Week [仮] 東京ビッグサイト

11月8日-8日 第15回 タイフスタイル Week [仮] 東京ビッグサイト

11月8日-8日 [オンラインに限定] CEDEC 2026(仮定)

11月9日-9日 アドタイ・チイス 10th Special Days(仮定)

11月9日-9日 第17回Pving-0(仮定)

11月9日-9日 国際プロフェッショナル・サミット(仮定)

11月9日-9日 第100回日本機械学会秋季大会(仮定)

11月9日-9日 第12回 Japan Marketing Week [仮] 東京ビッグサイト

11月9日-9日 第15回 タイフスタイル Week [仮] 東京ビッグサイト

11月9日-9日 [オンラインに限定] CEDEC 2026(仮定)

11月10日-10日 アドタイ・チイス 10th Special Days(仮定)

11月10日-10日 第17回Pving-0(仮定)

11月10日-10日 国際プロフェッショナル・サミット(仮定)

11月10日-10日 第100回日本機械学会秋季大会(仮定)

11月10日-10日 第12回 Japan Marketing Week [仮] 東京ビッグサイト

11月10日-10日 第15回 タイフスタイル Week [仮] 東京ビッグサイト

11月10日-10日 [オンラインに限定] CEDEC 2026(仮定)

11月11日-11日 アドタイ・チイス 10th Special Days(仮定)

11月11日-11日 第17回Pving-0(仮定)

11月11日-11日 国際プロフェッショナル・サミット(仮定)

11月11日-11日 第100回日本機械学会秋季大会(仮定)

11月11日-11日 第12回 Japan Marketing Week [仮] 東京ビッグサイト

11月11日-11日 第15回 タイフスタイル Week [仮] 東京ビッグサイト

11月11日-11日 [オンラインに限定] CEDEC 2026(仮定)

11月12日-12日 アドタイ・チイス 10th Special Days(仮定)

11月12日-12日 第17回Pving-0(仮定)

11月12日-12日 国際プロフェッショナル・サミット(仮定)

11月12日-12日 第100回日本機械学会秋季大会(仮定)

11月12日-12日 第12回 Japan Marketing Week [仮] 東京ビッグサイト

11月12日-12日 第15回 タイフスタイル Week [仮] 東京ビッグサイト

11月12日-12日 [オンラインに限定] CEDEC 2026(仮定)

11月13日-13日 アドタイ・チイス 10th Special Days(仮定)

11月13日-13日 第17回Pving-0(仮定)

11月13日-13日 国際プロフェッショナル・サミット(仮定)

11月13日-13日 第100回日本機械学会秋季大会(仮定)

11月13日-13日 第12回 Japan Marketing Week [仮] 東京ビッグサイト

11月13日-13日 第15回 タイフスタイル Week [仮] 東京ビッグサイト

11月13日-13日 [オンラインに限定] CEDEC 2026(仮定)

11月14日-14日 アドタイ・チイス 10th Special Days(仮定)

11月14日-14日 第17回Pving-0(仮定)

11月14日-14日 国際プロフェッショナル・サミット(仮定)

11月14日-14日 第100回日本機械学会秋季大会(仮定)

11月14日-14日 第12回 Japan Marketing Week [仮] 東京ビッグサイト

11月14日-14日 第15回 タイフスタイル Week [仮] 東京ビッグサイト

11月14日-14日 [オンラインに限定] CEDEC 2026(仮定)

11月15日-15日 アドタイ・チイス 10th Special Days(仮定)

11月15日-15日 第17回Pving-0(仮定)

11月15日-15日 国際プロフェッショナル・サミット(仮定)

11月15日-15日 第100回日本機械学会秋季大会(仮定)

11月15日-15日 第12回 Japan Marketing Week [仮] 東京ビッグサイト

11月15日-15日 第15回 タイフスタイル Week [仮] 東京ビッグサイト

11月15日-15日 [オンラインに限定] CEDEC 2026(仮定)

11月16日-16日 アドタイ・チイス 10th Special Days(仮定)

11月16日-16日 第17回Pving-0(仮定)

11月16日-16日 国際プロフェッショナル・サミット(仮定)

11月16日-16日 第100回日本機械学会秋季大会(仮定)

11月16日-16日 第12回 Japan Marketing Week [仮] 東京ビッグサイト

11月16日-16日 第15回 タイフスタイル Week [仮] 東京ビッグサイト

11月16日-16日 [オンラインに限定] CEDEC 2026(仮定)

11月17日-17日 アドタイ・チイス 10th Special Days(仮定)

11月17日-17日 第17回Pving-0(仮定)

11月17日-17日 国際プロフェッショナル・サミット(仮定)

11月17日-17日 第100回日本機械学会秋季大会(仮定)

11月17日-17日 第12回 Japan Marketing Week [仮] 東京ビッグサイト

11月17日-17日 第15回 タイフスタイル Week [仮] 東京ビッグサイト

11月17日-17日 [オンラインに限定] CEDEC 2026(仮定)

11月18日-18日 アドタイ・チイス 10th Special Days(仮定)

11月18日-18日 第17回Pving-0(仮定)

11月18日-18日 国際プロフェッショナル・サミット(仮定)

11月18日-18日 第100回日本機械学会秋季大会(仮定)

11月18日-18日 第12回 Japan Marketing Week [仮] 東京ビッグサイト

11月18日-18日 第15回 タイフスタイル Week [仮] 東京ビッグサイト

11月18日-18日 [オンラインに限定] CEDEC 2026(仮定)

11月19日-19日 アドタイ・チイス 10th Special Days(仮定)

11月19日-19日 第17回Pving-0(仮定)

11月19日-19日 国際プロフェッショナル・サミット(仮定)

11月19日-19日 第100回日本機械学会秋季大会(仮定)

11月19日-19日 第12回 Japan Marketing Week [仮] 東京ビッグサイト

11月19日-19日 第15回 タイフスタイル Week [仮] 東京ビッグサイト

11月19日-19日 [オンラインに限定] CEDEC 2026(仮定)

11月20日-20日 アドタイ・チイス 10th Special Days(仮定)

11月20日-20日 第17回Pving-0(仮定)

11月20日-20日 国際プロフェッショナル・サミット(仮定)

11月20日-20日 第100回日本機械学会秋季大会(仮定)

11月20日-20日 第12回 Japan Marketing Week [仮] 東京ビッグサイト

11月20日-20日 第15回 タイフスタイル Week [仮] 東京ビッグサイト

11月20日-20日 [オンラインに限定] CEDEC 2026(仮定)

11月21日-21日 アドタイ・チイス 10th Special Days(仮定)

11月21日-21日 第17回Pving-0(仮定)

11月21日-21日 国際プロフェッショナル・サミット(仮定)

11月21日-21日 第100回日本機械学会秋季大会(仮定)

11月21日-21日 第12回 Japan Marketing Week [仮] 東京ビッグサイト

11月21日-21日 第15回 タイフスタイル Week [仮] 東京ビッグサイト

11月21日-21日 [オンラインに限定] CEDEC 2026(仮定)

11月22日-22日 アドタイ・チイス 10th Special Days(仮定)

11月22日-22日 第17回Pving-0(仮定)

11月22日-22日 国際プロフェッショナル・サミット(仮定)

11月22日-22日 第100回日本機械学会秋季大会(仮定)

11月22日-22日 第12回 Japan Marketing Week [仮] 東京ビッグサイト

11月22日-22日 第15回 タイフスタイル Week [仮] 東京ビッグサイト

11月22日-22日 [オンラインに限定] CEDEC 2026(仮定)

11月23日-23日 アドタイ・チイス 10th Special Days(仮定)

11月23日-23日 第17回Pving-0(仮定)

11月23日-23日 国際プロフェッショナル・サミット(仮定)

11月23日-23日 第100回日本機械学会秋季大会(仮定)

11月23日-23日 第12回 Japan Marketing Week [仮] 東京ビッグサイト

11月23日-23日 第15回 タイフスタイル Week [仮] 東京ビッグサイト

11月23日-23日 [オンラインに限定] CEDEC 2026(仮定)

11月24日-24日 アドタイ・チイス 10th Special Days(仮定)

11月24日-24日 第17回Pving-0(仮定)

11月24日-24日 国際プロフェッショナル・サミット(仮定)

11月24日-24日 第100回日本機械学会秋季大会(仮定)

11月24日-24日 第12回 Japan Marketing Week [仮] 東京ビッグサイト

11月24日-24日 第15回 タイフスタイル Week [仮] 東京ビッグサイト

11月24日-24日 [オンラインに限定] CEDEC 2026(仮定)

11月25日-25日 アドタイ・チイス 10th Special Days(仮定)

11月25日-25日 第17回Pving-0(仮定)

11

Report

東京の夜を、光が塗り替える

——「TOKYO LIGHTS 2026」



プロジェクションマッピング国際
アワード TOKYO 実行委員会主催、
東京都共催の光の祭典「TOKYO
LIGHTS 2026」が、5月23日から
31日までの9日間、東京・西新宿エ
リアで開催された。

会場は2か所。都庁第一本庁舎 都
民広場では世界最大級のプロジェク
ションマッピング国際大会「1minute
Projection Mapping Competition」
を実施（5月23・24・30・31日の4
日間）。新宿中央公園では、光のアー
トインスタレーション「Light Art
Park」が9日間の期間中22時まで
展開された。

公式アンバサダーとして参加した
女優・土屋太鳳さんは「都庁を中心
とした高層ビル群と自然豊かな公園
が隣接する都市空間に、想像以上に
光の演出が馴染んでいて強い感動を
覚えた」と語ったほか、5月31日の
Grand Finaleにも登壇し、スペシャ
ルトークステージを行なった。

「Light Art Park」では、英国人
芸術家ルーク・ジェラム氏による日
本初上陸の巨大地球型インスタレー
ション「GAIA」（直径7m）をはじめ、
全12作品を展示。総合演出の小橋
賢児さんは「東京でもこのイベント
を『点』から『面』へと展開させる
ことで、より大きな価値が生まれる」
と、公共空間を活用した夜間体験の
広がり期待を寄せる。

「1minute Projection Mapping
Competition」は今年、「Dialog・対
話」をテーマに掲げ、大会史上最多
となる世界65の国と地域から412
作品が集結した。投影建築は、昨年
までの明治神宮外苑・聖徳記念絵画館
から都庁へと変わり、技術的難易度
も上昇。総合プロデューサーの石多
未知行さんは「新しい環境や技術的・



「TOKYO LIGHTS2026」は新宿中央公園での「Light Art Park」（写真上）と都庁第一本庁舎 都民広場での「1minute Projection Mapping Competition」（下）の2箇所で開催された

テーマ的な難題がクリエイターのモチベーションになる」と語り、過去最大規模の参加作品数に結びつたとみる。

主催者側はインバウンド需要の回復とナイトタイムエコノミーへの注目を背景に、「新たな夜の観光資産」の創出を掲げる。西新宿エリアには約7000室のホテルが集積し、欧米系リピーターを中心にほぼ満室で稼働し

ている。夜間コンテンツの充実が滞在者の東京体験の質を高め、口コミによるインバウンド促進につながるという戦略的意義も大きい。

公共空間・民間・行政が連携し、都市体験そのものを更新しようとする「TOKYO LIGHTS 2026」は、イベントが都市戦略の一翼を担う可能性を体験として示している。

（全文はweb版へ）

大阪万博、関係者が語る

JEDIS

日本イベント業務管理士協会（JEDIS）第29回定例総会が5月22日、東京都千代田区のテラススクエアで開催された。総会後には大阪・関西万博に携わった3名による座談会も開催された。

（株）マッシュの伊東睦啓氏はアルメニアのパピリオン受注契約交渉と機運醸成のための駅伝をプロデュースした。（株）電通の岡市隆士氏は延べ370人のスタッフを184日間、熱中症者ゼロで管理した。（株）ハートの阪岡裕貴氏は当時、出展企業に転職し参加。130万人を集めた企業館を



JEDIS「第29回定例総会」併催講演会

運営した。後半には元内閣官房国際博覧会推進本部事務局次長の井上孝氏も登壇し、大阪・関西万博のレガシーや来年3月開幕のGREEN×EXPO 2027の意義と展望を語った。

イベントの多様な専門領域をカバーする人材が一堂に集い、多彩な知見と熱量が結集した総会となった。

訪日市場の現在地は

—— THE INBOUND DAY 2026

訪日ラボ主催のインバウンドカンファレンス「THE INBOUND DAY 2026 - インバウンドの現在地 -」が、2026年8月7日（金）にTODAホール&カンファレンス東京で開催される。参加想定人数5,000人、オンライン同時配信あり。5月21日より参加登録受付を開始した。

元サッカー日本代表で日本酒・日本文化の世界発信を手がける中田英寿氏をはじめ、うなぎの寝床・鎌倉シャツ、Google・Booking.com・



元サッカー日本代表の中田英寿さんも登壇

TripAdvisorなどのグローバルプラットフォームフォーマー、京都市長・地域DMOまで多彩な実務者が登壇予定。イベント・MICE関係者にも示唆の多いプログラムが期待される。

キャストイング DX で業務効率化

—— MICE プラットフォーム

ソフトバンクグループのMICEプラットフォーム株式会社は5月18日、イベント主催者と出演者をつなぐキャストイングサービス「MICE Casting」の本格提供を開始した。

従来のキャストイング業務は人脈や既存ネットワークに依存するアナログな手法が主流で、出演者探しや条件調整に多大な時間と手間を要することが課題となっていた。新サービスでは、タレント・講師・司会者・専門家など幅

広い分野の出演者候補を検索・比較、出演依頼から条件調整までをオンライン上で完結できる。企業イベントや社内研修など多様なシーンでの活用を想定。業界全体のDX推進を目指す。



キャストイングサービス「MICE Casting」

EVENT MARKETING

FREE PAPER

読者Profile

大手メーカー・メーカー

▶年間イベント件数：約20件
デジタルマーケティングと
オフラインを組み合わせて
販促とファンづくりに

製薬会社
ミーティングプランナー

▶年間イベント件数：100件超
業界のファーストムーバーとして
異業種のトレンドを知り
講演会に活かしたい

IT企業向け
マーケティングサポーター

▶年間イベント件数：約150件
イベントマーケティングに関わる
テクノロジーやツールについて
情報収集したい



特集

イベントマーケティングのトレンドを
国内外の事例や動向から分析し、
メーカー・イベントの
皆さんと共有します。



国内・海外ニュース

ツールや
テクノロジーの最新情報、
開催直前概況・
事後レポートなどを
紹介します。



コラム

幅広い視野と独自の視点、
経験をもつ
著名人が執筆します。



インタビュー

リアルコミュニケーションを
楽しくをテーマに
話題の方々ほか、インバスター、
イベントメーカー、
主催者の声を収録。



調査・レポート

効果測定や開催状況の集計、
効果最大化の手法など、
face to faceを科学する
レポートをお届けします。

毎月30日発行

定期送付申し込み

発行所：株式会社 MICE 研究所
〒105-0004 東京都港区新橋 5-12-9
ABCビル 5F
TEL03-6721-5303
sofu@event-marketing.co.jp

